

550 名のご長寿を祝って！

「百寿」へ総理大臣表彰・「米寿」へ町記念品

今年度の敬老会は、昨年に続いて、新型コロナ感染症拡大防止のため、中止となりました。

敬老会実行委員会では、550 名の敬老者の皆さんへ、祝品の「紅白うどん」と「しおり」をお送りしました。

また、敬老の日に、びくに保育所園児のお祝いメッセージを IP 告知端末で配信しました。

100 歳を迎えた、**澁谷 素江さん**（美国町）へは内閣総理大臣より表彰状と記念品の銀杯が伝達されました。

町からは、町内在住の 88 歳の米寿 25 名の方々を松井町長が訪問し、記念品の「タオルケット」を贈り、長寿を祝いました。

▶百寿の**澁谷 素江さん**（美国町）は入院中のため、**長男の俊一さん**へ伝達。



▶米寿の**成田 節子さん**（幌武意町・ゆうり）



▶米寿の**細矢 義雄さん**（野塚町）

▶トドマツのコンテナ苗を植樹する参加者



10月1日、日本たばこ産業㈱（JT）との『JTの森積丹（JT）』との『JTの森積丹 森づくりの日森林保全活動』が催され、土川慎一郎北海道副支社長やJT社員、JT関連企業など65人が参加しました。

今回の森林保全活動は、積丹岳休憩小屋周辺を会場にトドマツコンテナ苗千本の植樹です。

JTの森積丹『森づくりの日』 秋の森林保全活動を開催！

林野庁北海道森林管理局石狩森林管理署や後志総合振興局森林室普及課職員の指導のもと、使い慣れない植栽機具に苦戦しながらも、参加者は将来の成長を願い1本1本丁寧に植え付け、およそ1時間30分の活動に汗を流しました。午後からのプログラムは、「秋の生き物ビンゴ大会」。参加者は、講師の地域環境計画から植物や野鳥、キノコの特徴の説明を真剣に聞きながら、秋晴れの森の中でのレクリエーションを楽しみました。

コロナ禍での森林の役割や資源の重要性が見直される中、他の多くの企業からも積丹町での森林を守る活動が注目されています。

今後もJTの皆様をはじめ、国・道の関係機関、町民の協力で、『JTの森積丹・海を育む水源の森』の実現を目指す取り組みを進めていきます。

北後志消防組合積丹支署

消防ニュース

都市型ロープレスキュー

10月3日の救助訓練は、8月下旬に北海道消防学校特別教育都市型救助課程に入校した入間川 大幸^{ひろゆき}隊員が、習得したロープレスキュー技術の伝達を全隊員に実施しました。「都市型ロープレスキュー」は、立体的な救助活動が求められる災害現場でロープを使用する救助活動のうち、編み構造ロープ（登山用）と関連する器具（ギア）を組み合わせて、救助活動の迅速化と隊員の技術力を補完できるものです。

訓練では、「工事現場地下で作業中の男性1名が体調不良を訴えて自力で地上へ戻れない」という想定で、1隊5名編成で救出システムを構築し、要救助者を安全・確実・迅速に地上へ救出する訓練を繰り返し、救助技術と隊員同士の連携を確認しました。

積丹支署では多様化する災害に備えて、日々の訓練に努めています。



地域おこし協力隊 レポート

Vol.5

4月1日付けで9名の『地域おこし協力隊』が委嘱され、町内の団体や事業所で活躍しています。各隊員の活動内容や今後の目標などを広報しゃこたんで連載しています。



今月の地域おこし協力隊

ほそかわ ななこ
細川 菜々子 さん

【㈱SHAKOTAN GO所属】

㈱SHAKOTAN GOの
細川 菜々子と申します。

㈱SHAKOTAN GOは、積丹町のまちづくり会社として昨年10月に設立され、岬の湯しゃこたんを運営しています。現在は、町が建設した施設をそのまま利用して営業していますが、想像を遥かに超えるファンの多さから、冬期は改装工事を行い、来年春のリニューアルオープンを目指しています。

私の主な業務は、温泉の受付でお客様に施設サービス・観光のご案内やワークショップなど施設の高度利用化に向けた検討を行っています。前職が新千歳空港の案内所でしたので、経験を最大限生かしながらSNSで全国への発信で集客を行っています。

今後は、得意分野の音楽やものづくりと町の課題点をマッチングさせた新サービスを展開していくことが目標です。具体的には、6月に岬の湯で開催した演奏会で、楽器奏者の発表の場や日常に



音楽でリフレッシュができる場所の必要性を感じ、定期的に音楽を楽しめる機会を提供していきたいです。また、移住して、気になっていた、海洋プラスチックゴミや牧場とジン蒸溜所の周囲で放牧している「しおかぜ羊」の羊毛の活用方法にも挑戦し、積丹町の第二次・三次産業を発展させる商品開発を手掛けていきたいです。

これから岬の湯を中心に積丹町を盛り上げていくよう頑張っていきたいので、よろしくお願い致します。